



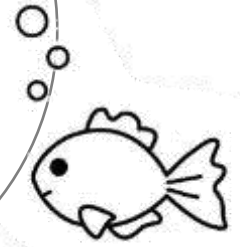
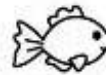
7月のプール活動日

- 1日(月) 全園児
- 2日(火) 全園児
- 4日(木) 3歳児
- 9日(火) 3歳児
- 10日(水) 5歳児・4歳児
- 11日(木) 5歳児・4歳児
- 12日(金) 3歳児
- 16日(火) 全園児
- 17日(水) 全園児
- 18日(木) 全園児



7月の保健行事

- 1日(月) 発育測定 5歳児
- 4日(木) 発育測定 4歳児
- 9日(火) 発育測定 3歳児



子どもたちが楽しみにしていたプール活動が始まりました。プール活動に先駆けて、6月の発育測定後に、子どもたちに「からだのとくべつだいじなところ」について指導をしました。教材として3歳児には絵本「だいじ だいじ どーこだ?」(大泉書店出版)、4歳児には文科省 命の安全教育の中から「じぶんだけのだいじなところ」、5歳児には絵本「おしえて! くもくん プライベートゾーンってなあに?」(東山書房出版)を使用しました。指導の要点は、1. からだはぜんぶだいじ。2. からだにはとくべつにだいじなところがある。3. からだのだいじなところは、じぶんだけはきれいなでさわってもいい。4. だれかがさわろうとしたらいやだという。5. じぶんじゃないひとのだいじなところはみたり、さわったりしない。6. もし、だれかにさわられたら、おとなのひと(おうちのひとや、せんせい)にはなす...です。じぶんのからだもおともだちのからだもだいじにすることが伝わればいいなと思います。

保護者様には、毎年のことながらプール活動に際してご準備いただき、ありがとうございます。プールの着替えに関しても、これまでも4・5歳は男女別で部屋を分けて着替えをさせていました。今年は3歳児も男女別で部屋を分けて着替えをします。お知りおきください。

汗をかいたら...

汗をかくことが多い季節になりました。汗をかくことは健康なことですが、中には汗かぶれになってしまう子どももいます。さらに、引っかいたりして重症化すると「とびひ」になったりもしますので、ケアが大切かなと思います。



汗で気をつけるところ

汗のケア

- 汗をかいたら、忘れずに水分補給をする
- 汗をかいたら、汗をふく、着替える
(お家ではシャワーをあびる)

幼稚園では、衣服が汚れた・濡れた以外、汗による不快感等でも着替えますので、着替えは持たせてください。

あつさをのりきろう!

しょくじを しっかりとろう



なつやさいも たくさん たべよう



なつやさいとは、
なす・きゅうり・れたす・おくら・とまと・にんじん・いんげん・せろり・すなっぷえんどう・ごーや・とうもろこし・
ぴーまん・もろへいや・とうがん・えだまめ・・・ほか

あまいもの・つめたいものは ひかえよう



すいぶんは のどがかわくまえに おみずか おちやで
ほきゅうしよう



ひよけ、もしくは ぼうしをかぶろう



いまはできなくても、いつか、じぶんのすいとうは、
まいにちじぶんで きれいにできたらいいね



誤嚥について

今年に入って、子どもの食品の誤嚥による死亡が報道されていました。食品による窒息で14歳以下の子どもが亡くなる事例は2014年から2019年の6年間で80件報告されており、そのうち5歳以下が73件と9割以上を占めているそうです。幼稚園でも教職員が5月と6月に救命救急・応急手当の講習会を行いました。

窒息を起こしやすい主な食品は、プチトマト・ぶどう・うずら卵など、丸くてつるっとした食品、ごはん・パン・餅など粘着性が高く飲み込みにくい食品、イカ・りんご・生にんじんなど硬い食品があげられます。

窒息を起こしやすい子ども側の要因は、「一度にたくさん口に入れる」「慌てて食べる」「お喋りしながら食べる」「動きながら食べる」「水分を摂らずに食べる」などがあげられます。

もし、ご家庭で食事中に誤嚥を起こした場合、基本的には「激しい咳き込み」が出る人が多いです。食事中におせて咳が止まらない場合、背中の肩甲骨と肩甲骨の間をたたいて詰まったものを出させる処置をしましょう。さらに、呼吸の状態をみて苦しそうなら救急車を要請しましょう。また、図1のようなしくさをして、急に顔色が悪くなったり、声が出なくなったり、食品を吐き出す前に意識がなくなる場合は、胸骨圧迫による心肺蘇生法を開始してください。



図1: 口に指を入れる、声を出せない、呼吸が苦しい、顔色が青い



子どもの口に入る大きさのもの



約4cm

トイレトーパーの芯の長さと同程度

直径 約4cm